

対マラウイ緊急援助

洪水被害に対する緊急援助物資引渡式

2015年1月28日



左から：ムドエUNICEFマラウイ代表、ニレンダ災害管理局次官補、ルハンガ土地・住宅・都市開発省次官、西岡駐マラウイ日本大使、徳橋JICAマラウイ事務所長

1月上旬、大雨の影響を受けてマラウイ国内南部にて洪水が発生し、多くの犠牲者及び避難者を出しています。1月28日、日本政府はこの状況に対応するためマラウイ政府に対して緊急支援を行い、西岡周一郎駐マラウイ日本大使はマラウイ災害局に緊急支援物資の引渡しを行いました。

1900万円相当の緊急支援物資には、テント180帳、寝台マット900枚、毛布900枚、ビニールシート40枚が含まれています。今次緊急援助は国際協力機構（JICA）を通じて行われ、UNICEFが被災者へ配布する予定です。

西岡大使は、今次緊急援助に加え、日本政府はWFPを通じた約2億5000万円の食糧援助を検討していると述べました。式典には、アイビー・ルハンガ土地・住宅・都市開発省次官、シュピカイ・ニレンダ・マラウイ災害局次官補、マヒンボ・ムドエUNICEFマラウイ代表、徳橋和彦JICAマラウイ事務所長が出席しました。